

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和5年1月13日 14:00～15:10

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室 川崎企画調整官、反町専門職

核燃料施設等監視部門 平野主任監視指導官

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループリーダー 他6名

5. 要 旨

四国電力から、伊方発電所で実施する防災訓練において試行する「マルファンクション付与等により現場での臨機の対応を確認できる訓練」について、資料1に基づきⅡ型訓練の概要等の説明があった。

原子力規制庁から、マルファンクション案について数点提案し、四国電力から採用する旨の回答があった。

また、原子力規制庁から、マルファンクションの試行は今回の四国電力の結果のみでは完結せず、次年度以降も必要だと考えており、今年度の試行の報告の際には、マルファンクションが一連の訓練のあり方の見直しの中で、どのように活かされると考えられるか、報告に入れるよう求めた。

四国電力から承知した旨の回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 マルファンクション付与訓練試行の検討について（四国電力株式会社）

資料2 検査官によるマルファンクション付与訓練におけるマルファンクションリスト（案）